

8-4-31 PM専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) PM 専門委員会の開催

主に建設コンサルタントがインフラ整備事業に関する CM/PM 関連業務へ参画し、業容の拡大を図ることを目的として、平成 29 年度の専門委員会は 11 回開催した。

(2) PM セミナー2017 の開催

a) セミナーの概要

- ・日時：平成 29 年 12 月 12 日(火)
- ・場所：都市センターホテル
- ・参加人数：75 名

b) セミナーの内容

① CM 業務の特徴と現状の課題について

- ・建設コンサルタントが目指す CM 方式や今後の CM 方式への対応方法を概説した。

② 講演：河内長野市下水道管路包括業務委託～広げよう身近なマネジメント

- ・アットリスク型 CM としての下水道包括業務について発注者と CMR の両立場から CM 業務の有効性等の説明がなされた。

(講師：河内長野市奥野主幹兼企画係長、
(株)日水コン大住営業企画部長)

③ 講演：福島県道路事業における CM 方式の活用事例紹介

- ・昨年度は、発注者の視点から見た建設コンサルタントに求められる役割等、CM 方式導入のあり方について説明がなされた。
- ・今年度は、CMR の立場から効果や役割等について説明がなされた。

(講師：日本工営(株)佐々木専門部長)

(3) 平成 29 年度マネジメントセミナーへの参画 マネジメントシステム委員会傘下の専門委員会として参画した。

a) セミナーの概要

- ・開催日：平成 29 年 7 月 4 日～27 日
- ・場所：建コン協 9 支部提供の会場
- ・参加人数：1,370 名

b) PM 専門委員会対応個所「CM 方式の更なる活用に向けて」

①発注者支援業務と CM 方式の相違や特徴、CM 方式の課題を受け、今後の建設コンサルタントが目指す CM 方式について説明した。

②熊本震災での CM 方式の概要と CM 方式に関する課題に対して今後の課題解決の方向性について説明した。

③過年度説明した 4 つの CM 方式の事例は今年度のテキストの参考資料編に添付した。

(4) 土木学会契約小委員会へ委員派遣

監理業務委託契約約款、共通仕様書等について、委員として参加しコンサルタントの立場からの意見を反映し、また普及活動を支援。

(5) 震災復興マネジメントを活用した事業推進検討会（UR 都市再生機構主催）への参加

今後のマネジメント方式の活用と実務のとりまとめに際して意見を提出した。

(6) 監理業務緊急対応 WG への支援

熊本震災復興で導入されている PM/CM に対する課題整理結果を国土交通省へ引き継ぎ、CM 方式のあり方に対する意見交換会（2/21）を実施した。

(7) PM/CM 講師派遣

平成 29 年度は講師派遣実績なし。

2. 次年度の活動について

① 現在導入中の CM 方式に対する効果、今後の取り組み方について検討・整理する。

② H26 年度に実施した地方公共団体への CM ニーズ調査を実施し、発注者の CM 方式に対する意識の変化等を把握し、今後の普及活動等の基礎資料へ活用する。

③ CM 方式活用の手引きの改訂の準備を進める。

④ PM セミナーを開催し、建設コンサルタントに対する CM 方式の技術習得を図る（上記①～③の結果も活用）。

⑤ 地方公共団体への講師派遣を継続的に実施し、発注者へ CM 方式の必要性を説明し、CM 方式の拡大を図る（上記①②の結果も活用）。

(PM 専門委員会委員長 畔柳 耕一)